



徳島県の「管理栄養士職」について教えて！

徳島県の「管理栄養士職」ならではの魅力は何ですか？

徳島県は、糖尿病による死亡率が全国ワーストクラスであり、万代庁舎、保健所、県立病院のどの職場においても、管理栄養士の知見と専門性が求められています。

業務は、大変なこともあります。様々な職種と連携しながら「食と栄養」の専門職として、県民の健康をサポートしていくことのできる魅力ある職場です。

人事異動について教えてください。

配属先は主に万代庁舎、保健所、県立病院のいずれかです。万代庁舎では、健康増進部門、児童福祉部門、食品表示関係部門などに配属されます。人事異動サイクルは2～4年が基本ですが、希望等によってはさらに長くなる場合もあります。

なお、人事異動については、必ずしも希望どおりになるとは限りませんが、異動先の希望を伝える機会を設けています。

給与について教えてください。

病院や保健所等で勤務する場合、
初任給は月額208,800円(大学卒)です。

研修体制や資格取得支援、研究発表等の取組はありますか？

他県で開催される専門研修や、国立保健医療科学院などの公衆衛生専門機関での研修会に参加することができます。

また、研究発表では四国公衆衛生学会などの場で研究発表することができます。

もっと「管理栄養士職」について知りたい！

徳島県職員採用ホームページでも、職務の内容や先輩職員の声を紹介しています！

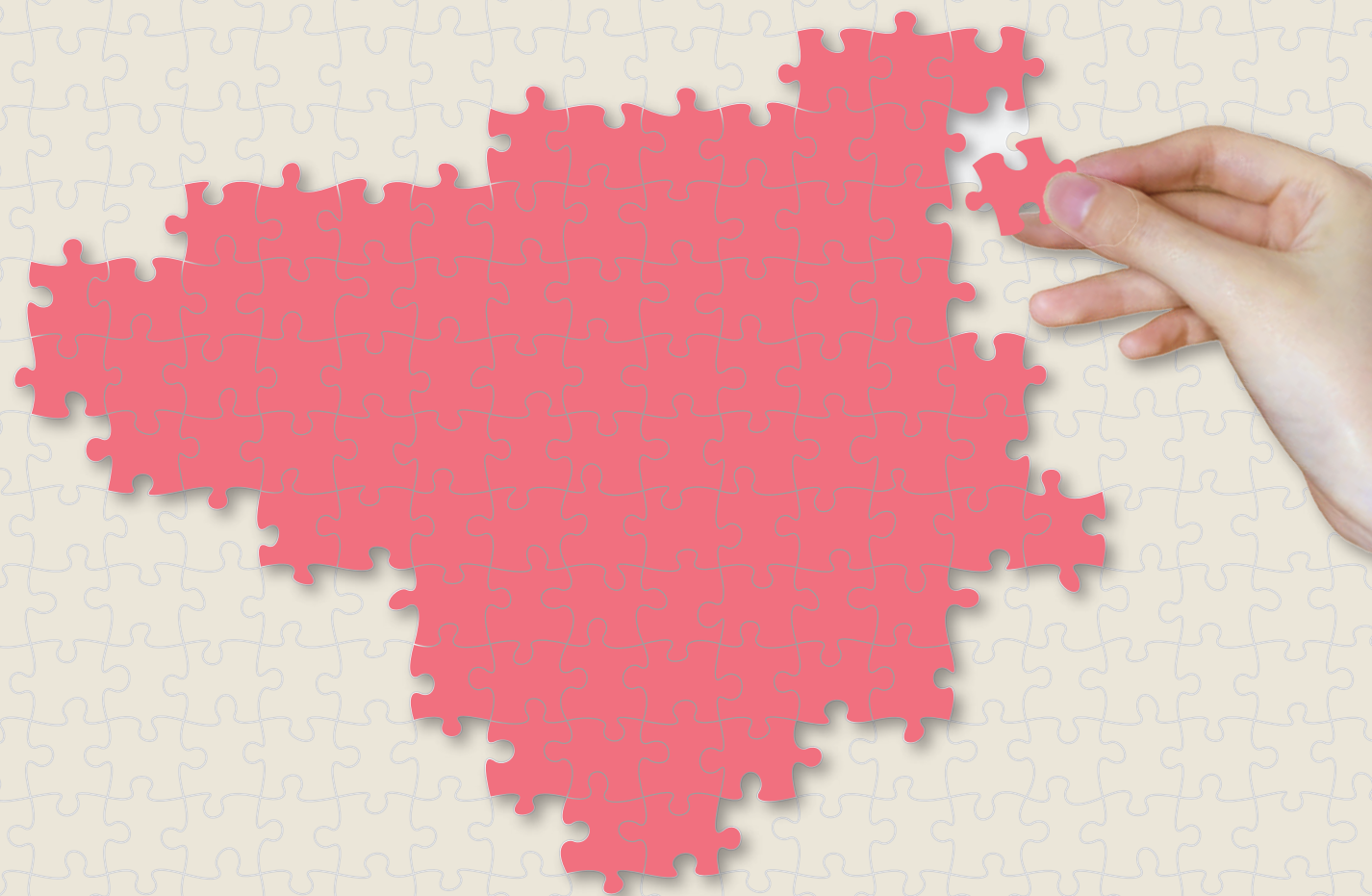


TOKUSHIMA

職員採用案内



管理栄養士職



管理栄養士職の業務に関する問合せ

徳島県保健福祉部保健福祉政策課
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 徳島県庁2階
TEL.088-621-2172 FAX.088-621-2839
✉ hokenfukushiseisakuka@pref.tokushima.jp

採用に関する情報・問合せ

徳島県職員採用ホームページ
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/saiyou/>



徳島県経営戦略部人事課
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 徳島県庁3階
TEL.088-621-2358 FAX.088-621-2825
✉ jinjika@pref.tokushima.jp

※掲載内容は、令和6年1月現在のものです。

西部総合県民局保健福祉環境部＜美馬保健所＞

住民や関係団体と顔の見える関係、
健康を支える環境の構築に取り組む

美馬保健所は、徳島県の西部に位置しており、豊かな自然に囲まれた場所にあります。管内の人口は約34,000人で、少子高齢化が進んだ地域です。所内は3つの担当に分かれて業務を行っています。医療企画担当では、救急医療、衛生統計、在宅医療・介護コーディネーター体制整備事業等を行っています。生活衛生担当では、食品衛生管理指導、薬物乱用防止対策、動物由来感染症対策などを行っています。健康増進担当では、感染症対策、母子保健、歯科保健、栄養改善事業等を行っています。住民や関係団体との顔の見える関係づくり、保健福祉連携体制、住民の健康づくり、健康を支える環境づくり等を推進しています。



三木 真実子 / Miki Mamiko

西部総合県民局保健福祉環境部＜美馬保健所＞ 主任
令和元年度入庁

〔所属歴〕
●令和元年度：東部保健福祉局＜徳島保健所＞
●令和5年度：西部総合県民局保健福祉環境部＜美馬保健所＞



INTERVIEW 01

人との繋がりを大切にし、地域の健康づくりに貢献

私は、健康増進担当の管理栄養士として、会議や研修会の開催等により、地域住民や関係団体の方々を繋ぎ、地域の健康づくりの輪を大きく太いものに出来るよう、日々努力しています。また、県西部では毎月24日を「にし阿波・野菜食べようデー」とし、飲食店や事業所、健康づくりボランティアの方々と連携し、野菜摂取量アップに取り組んでいます。この取り組みにより、管内の野菜摂取量は県内随一の高さを誇っています。多くの方々の御理解・御協力を頂き、健康づくりの活動が大きなものになることに、感謝とやりがいを感じます。人との繋がりを大切にし、地域の健康づくりに貢献できるよう、これからも頑張ります。

主な配属庁舎



佐藤 友美 / Sato Tomomi

中央病院医療技術局栄養管理科 副科長
平成15年度入庁

〔主な所属歴〕
●平成15年度：海部病院
●平成18年度：中央病院
●令和2年度：三好病院
●令和5年度：中央病院医療技術局栄養管理科

INTERVIEW 02

患者さんが回復していく様子や笑顔に
立ち会えることにやりがいを感じる

チーム医療である緩和ケアチームへの参加は、私が担当している業務の一つです。食や栄養に問題を抱えた患者さんは少なくありません。がん病態栄養専門管理栄養士として、患者さんの栄養や食事の困り事に直接お話を伺い、食事の調整や提案、アドバイスをしています。医療と栄養は切り離すことができないため、最近では医療における栄養管理の重要性が増えています。病院では患者さんが回復していく様子や笑顔に立ち会えることができ、日々やりがいを感じています。これからも栄養のスペシャリストとして、「栄養は全ての治療の基本である!」とモットーに多職種と連携しながら患者さんの栄養改善に全力で取り組みます。



▲ 緩和ケアチーム回診

中央病院医療技術局栄養管理科



東部保健福祉局＜徳島保健所＞

多職種連携により、県民の食の安全・安心を守る

徳島保健所の食品衛生担当では、主に飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止し、県民の皆様の食の安全・安心を守ることを目的として業務を行っています。具体的には、食品営業施設等の許認可に関連する相談対応や、食中毒等の事故発生を未然に防ぐため、大量調理施設や食品等事業者に対する自主的衛生管理の推進を図る指導及び監視指導、食品における苦情や食中毒発生時の対応、食品表示に関する情報提供等、幅広い業務を行っています。その他、旅館業や住宅宿泊事業法に関連する業務も担っています。また、獣医師、薬剤師、管理栄養士、事務職員等と多職種が連携し、業務を行っている部署でもあります。

INTERVIEW 03

現場で新しい知見を得られるところが魅力

現在は、食品営業施設の許認可に関する事業者からの相談対応や、監視指導を主に行っています。令和4年度末時点で、県内の66%の食品関連事業者を所管しているため、相談件数も多く、内容も多岐にわたります。また、令和3年には食品衛生法の改正があり、法律の運用にも変更があったため、適切な情報を提供できるよう、自己研鑽に励んでいます。

県職員というと、デスクワークのイメージが強いかもしれませんが、食品衛生担当では、食品営業施設等を訪問する機会も多く、現場で新しい知見を得られるところが魅力だと思います。また、業務の中で管理栄養士としての専門性を発揮できたときや、対応した事業者の方から感謝の言葉をいただけたときには、やりがいを感じます。



谷澤 美咲 / Tanizawa Misaki

東部保健福祉局＜徳島保健所＞ 主任主事
平成30年度入庁

〔所属歴〕
●平成30年度：中央病院
●令和4年度：東部保健福祉局＜徳島保健所＞

INTERVIEW 04

正しい知識をわかりやすく発信することに
やりがいを感じる

徳島県では、糖尿病死亡率が高く、過去には14年連続ワースト1位ということもありました。最近ではワースト1位は脱却したものの、依然として糖尿病死亡率は高い状況です。糖尿病は生活習慣が主な原因の一つであり、食事や運動といった生活習慣が乱れてしまうと、糖尿病などの生活習慣病に罹患する可能性が高くなります。糖尿病の予防に向けて、全国糖尿病週間にあわせて糖尿病に関する展示を行ったり、県庁のライトアップなどの啓発を通じ、県民の皆様に糖尿病に関する正しい知識を発信しています。わかりやすく発信するにはどうするのがいいか考えるのはとても楽しくやりがいを感じています。



喜多 美幸 / Kita Miyuki

健康づくり課 主査兼係長
平成14年度入庁

〔主な所属歴〕
●平成14年度：三好病院
●平成20年度：西部総合県民局保健福祉部＜美馬＞
●平成27年度：東部保健福祉局＜吉野川保健所＞
●令和2年度：消費者くらし安全局安全衛生課
●令和5年度：健康づくり課



▲ 糖尿病に関する展示

県民の『健康寿命の延伸』と『健康格差の縮小』を
目指した施策を推進

健康づくり課健康プロジェクト担当では、現在3名の管理栄養士が在籍しており、それぞれ業務は異なるものの、県民の『健康寿命の延伸』と『健康格差の縮小』を目指し、主に健康づくりに関する施策を担っています。具体的には、「県民健康栄養調査」から野菜摂取量が少ないなどの県民の健康課題を抽出し、健康課題の解決や糖尿病をはじめとする生活習慣病等の予防のための正しい食情報の発信、健康的な食事を選択しやすい環境整備などを行っています。「食」から県民の皆様の健康づくりをサポートしています。

健康づくり課